



Japan Writing Instruments  
Manufacturers Association

# 日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6  
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成17年11月1日 16号

## 理事会開催 活発な活動報告

日本筆記具工業会は10月20日、東京文具工業健康会館で理事会を開催し、17年上期の事業進捗状況について報告を行いました。小川洋平会長は開会の挨拶に引き続き、今秋、自ら訪欧して業界活動をした成果について、次の通りの報告をしました。

「JIS規格をISOの規格に上程するという大きな課題を携えて、9月下旬、技術国際委員会のメンバーと共に、欧州筆記具工業会(EWIMA)の技術委員会に出席し、引き続き10月初旬のEWIMA年次総会に出席してまいりました。この訪問は一定の成果をおさめることができたと考えていますが、引き続き皆さんと一緒に努力していきたいと思っています。出席した総会では講演を依頼され、日中の歴史的関係と今後のチャイナ・インパクトについてお話ししました。欧州においても中国に対する脅威が高まっている模様で、皆さん熱心にお聞き頂き、活発な質問も頂戴し、日欧の団結をさらに深めることができたと思っています」。以降、理事会の要旨を報告します。

### 17年度第3回理事会抄録

#### 総務委員会(委員長:今井正芳副会長)

##### 山田壮佑副委員長報告

会員入会状況について。(4月1日～9月末日)

新規加入 = 1社 退会 = 0社

新規加入 = 加藤金属工業株式会社

現在会員数: 63社 1団体(10月1日現在)

会員交流促進企画・運営について。

第4回通常総会時 懇親会を開催(5/12)

会員研修会の開催(10/4)

テーマは「EN71シリーズ」、「お客様と企業のコミュニケーションについて」、「懇親会」。尚、当日アンケートを実施した。(別記にて)

行政官庁との連絡・折衝について

中小企業信用保険法・特定業種の指定申請及び更新を行った。

アスベストを含有する家庭用品の製造・輸入の実態及び当該家庭用品による健康被害の発生状況に係る調査を行った。また、厚生労働省 経済産業省通達「石綿による健康障害防止対策への適正な対応について」を会員に通知した。

原価償却資産の耐用年数等の減価償却制度の見直しに関する現状調査を行った。

「団体及び業界の実態把握のための報告書」を作成した。

福利厚生について。

第2回 JWIMA ゴルフコンペを9月10日開催した。(頁3にて報告)

#### 流通委員会(委員長:堀江圭馬副会長)

##### 堀江圭馬委員長報告

消費税の総額表示に関する問題点の把握・対応の研究について。

消費税総額表示に関しては、注意をして様子を見てきたが、その後特に問題は発生していない。適正な販売と流通秩序に関する調査研究を実施する。

個人情報保護法施行による各社の対応状況について、勉強会を行ったが、今後さらに情報交換を行っていく。

カタログ等に関する調査に関しては、現在データ収集を行っており、12月理事会で報告する予定。

お客様相談窓口連絡会について。

お客様相談窓口担当者による情報交換会を定期的に開催し、お客様対応事例の整理を行なっている。会員研修会(10月4日)でその概要内容紹介を行った。

製品評価技術基盤機構の「誤使用事故防止ハンドブック」を用いて誤使用の内容検討を行った。

「個人情報保護法」施行後のお客様相談室が関係する内容について討議・研究を行った。

調査研究・広報委員会との連携として、HPに掲載する「マーケティングペン」お役立ち情報の内容検討を行なっている。

#### 調査研究・広報委員会(委員長:石川真一副会長)

##### 石川真一委員長報告

国内筆記具統計資料について。

・月次筆記具統計(生活用品統計・貿易統計)データの収集及び工業会HPへの掲載を行った。

・16年度筆記具統計を作成した。

・99～03年輸出・輸入国別グラフをHPに新規掲載した。

・17年上半期(1～6月)筆記具統計を作成した。  
 ・アメリカ輸出統計95～04年、アメリカ輸出統計05年  
 月次、中国輸入統計95～04年をHP会員専用  
 頁に掲載した。

海外筆記具統計資料の収集について。

技術国際委員会からドイツの統計(2004)データ  
 を入手したので、整理し会員に提供を行う予定。

独自調査資料「2004年中国貿易統計データ」を  
 入手したので、これも近々会員へ提供を行う。

インターネットの活用について。

本工業会ホームページのアクセス状況、並びに更  
 新状況につき報告した。今後、お役立ち情報コー  
 ナーに「マーキングペン」を追加することにした。

本工業会ニュース発行の報告。

その他。年末懇親会講師佐々淳行氏招致の経過  
 等について報告した。

### 技術国際委員会(委員長:数原英一郎副会長)

#### 西本洋二副委員長報告

各部会活動について。

鉛筆、色鉛筆及びそのしんJIS/ISO部会  
 シャープ部会と合同部会を開催した。JIS S 600  
 6改正に向けて、シャープ部会と合同で濃度試験  
 紙の調査研究の結果、王子製紙製ケント紙(マシ  
 ュマロ)を選定することに決定。

「JIS S 6006鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いるし  
 ん」改正原案作成第1回分科会を「JIS S 6005シ  
 ャープペンシル用しん」と合同で開催。原案作成期  
 間は平成17年8月1日から平成18年7月31日の1  
 年間。

シャープペンシル及びシャープ用しんJIS/ISO部会  
 鉛筆部会と合同部会開催。上記の通り。

ボールペンJIS/ISO部会  
 ゲルインキボールペンISO規格のWorking draft  
 3件を作成。EWIMA事務局長メラー氏にE-mail  
 にて送信した。

第1回部会を開催。EWIMA TSCの報告とJIS S  
 6054(ISO 14145と共通)の筆記試験用紙につい  
 て審議した。

マーキングペンJIS/ISO部会  
 3回の部会を開催。マーキングペンJIS改正のフォ  
 ローとホワイトボードマーカの業界基準作成につ  
 いて審議。なお、廃止されたJIS S 6056(ほうろう  
 白板用マーキングペン)をたたき台として、全国黒  
 板連盟と協調して、基準作りを行うこととした。

事務用修正液JIS/ISO部会  
 JIS S 6055「事務用修正液」の改正の必要性に  
 ついての検討を次回の部会にて行うことにした。

万年筆JIS/ISO部会  
 JIS S 6025「万年筆及びそのペン先」の5年見直  
 しについて検討することにした。

知的財産部会  
 中国模倣品問題に対する調査及び対応として、  
 ・ISO T2005における活動、100円ショップ、量  
 販店調査等を実施。

・アジア7カ国模倣品水際対策マニュアルの作  
 成、配布。

・他業界(玩具、時計の各協会合同)と知的財産  
 交流会を実施した。

全文協と合同で中国への知的財産調査団を派遣  
 した。また、中国制筆協会との間で共同声明に調  
 印した。

国際規格関連活動について

ゲルインキボールペンISO(国際標準化機構)規  
 格提案活動

ISO T2005 三極非公式会議にて、ゲルインキ  
 ボールペンISO規格の考え方について提案した。

平成17年度国際規格適正化事業委員会を設  
 置し、ゲルインキボールペンISO規格案を審議し  
 した。

EWIMA技術委員会(2005.9.28)に出席し、  
 上記 について審議した。

ISO/TC10国内合同委員会及び国際規格適  
 正化・共同開発合同委員会に出席した。

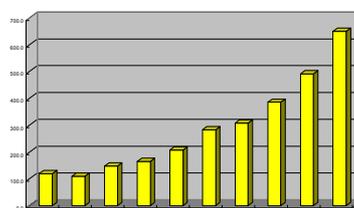
### 小川洋平会長ベルリン講演 於・欧州筆記具工業会年次総会(10月8日)

小川洋平会長は05年10月8日、ベルリンで開  
 催された欧州筆記具工業会(EWIMA)の年次  
 総会に招かれ、「中国が筆記具業界に及ぼすイン  
 パクト 日本の視点」と題して講演を行いました。  
 この講演テーマはEWIMA側から要望があ  
 ったもので、日本の筆記具メーカーの視点を通  
 じて、世界の文具マーケットを震撼させているチ  
 ャイナ・インパクトについて考えたいとする欧州メ  
 ーカーの危機意識が現れていました。会長の帰  
 国とほぼ同時に、EWIMAのメラー事務局長か  
 ら感謝状が届き、講演は有意義で評価が高か  
 ったとした上で、とくに前段で触れた13世紀に  
 遡って解説した日中の歴史関係については、  
 中国民族を理解するうえで貴重な情報であった  
 と伝えてきました。

#### <講演趣旨>

- 日本筆記具工業会並びに(社)全日本文具  
協会 紹介
- 日本と中国大陸の中世からの歴史
- 中国筆記具工業会2005年次報告書の解釈
- 中国の模倣品と知的財産権侵害の実態
- 模倣品対策を共同声明に盛り込んだ日中筆  
記具工業会の今日の関係 など

中国筆記具販売額の伸び 過去10年



## 会員研修会に 82 名が参加

総務委員会は知識の交流を通じて、業界のレベルアップを図ろうと10月4日、第2回会員研修会を開催しました。



第一部は(財)日本文化用品安全試験所の篠原恒久部長による「玩具に関する欧州規格EN71における化学物質の規制」、第二部はぺんてる(株)経営戦略室神田 勇次長(お客様相談窓口連絡会会長)による「お客様と企業のコミュニケーションについて」でした。82名の会員と文具専門紙の参加で健保会館の研修室はほぼ満席になりました。受講者によるアンケートでは、第一部はテーマが化学物質だけに「やや難関」とする声が、第二部は「レベルに合った」とする声がトップでした。今後の講座への期待としては、「海外安全規制の動向について」「中国の筆記具市場について」がトップでした。研修会を終えて夕刻からは任意参加の懇親会を開催、山田総務委員会副委員長の乾杯の音頭で懇親を深めました。

## 第2回ゴルフコンペ開催

総務委員会は9月10日(土)、恒例になった「第2回ゴルフコンペ」を開催しました。コースは、名門「グレンオークスカントリークラブ」(千葉県香取郡)。小川会長も初参加し、計19名で9時半スタート、新ペリア制で交歓プレーを楽しみました。優勝はマービーの小林伸也社長。第2位はゼブラの神永東一郎さんでした。グリーン上で深める業界の絆はまた格別のもの。みなさんの参加をお待ちしています。

## 「優良工場見学会」実施

好評のうちに回を重ねて4回目となった本工業会と日本鉛筆工業協同組合共催の「優良工場見学会」、ことしは10月13日(木)に42名の参加者を集めて開催。前回より10数名も参加者がふくらみ、評価が定まってきた恒例行事です。

当日は晴天に恵まれ、予定通り朝8時半に一行のバスは日暮里を出発、資生堂鎌倉工場を目指しました。鎌倉プリンスホテルで昼食をとり、午後はNHKの大河ドラマ「義経」でも話題の鎌倉国宝館を見学。帰路につきました。

視察した工場と記念館

株式会社資生堂鎌倉工場(鎌倉市岩瀬)

「より多くの方に、より美しい暮らしを提案していきたい」を願って1959年に鎌倉に設立されました。資生堂の主力工場で、いま親しまれているメーキャップ、スキンケア商品の「レシェンテ」、「エリクシール」、「ク

レド・ボー」などを生産しています。その小ロット多品種に対応した生産システムは筆記具のそれに非常に親近感があるものでした。同工場は、品質保証システムと環境管理システムのISO認証を取得しており、知恵を集めたゼロエミッション設備などを直接見ることができ、たいへん有意義でした。



## 鎌倉国宝館及び若宮大路・小町大路

鶴岡八幡宮に隣接する鎌倉国宝館は国の登録有形文化財に登録され、当日は特別展も開催され歴史を伝える貴重な文化財を一堂に展示、公開されていました。また、オシャレなショップが多く若者のストリートといえる若宮大路などのトレンド調査も行いました。

## JWIMA講演会・懇親会 12月7日(水)

<講師に佐々淳行先生を迎えて>

ことしの「JWIMA講演会・懇親会」は12月7日(水)に決定しました。講演会は夕刻5時から、懇親会は6時20分からは予定しています。

今回の講演会講師は、内閣総理大臣官房・内閣安全保障室の初代室長の佐々淳行先生。講演テーマは「平時の指揮官・有事の指揮官」です。20年に及ぶ警察歴任の間、ケネディ暗殺事件調査、東大安田講堂事件、連合赤軍あさま山荘事件、よど号・ドバイ・シンガポール事件等一連のハイジャック事件、連続企業爆破事件等の難事件を処理された経験から、危機管理について興味深いお話を聞かせていただきます。会員各位のご参加をお待ちしています。

<佐々淳行先生プロフィール>

昭和29年 東京大学法学部政治学科卒業、警察庁入庁

昭和47年 警察庁調査・外事・警備課長

昭和50年 三重県警察本部長を経て警察庁刑事局参事官

昭和52年 防衛庁出向。官房長、防衛施設庁長官を歴任

昭和61年 内閣総理大臣官房・内閣安全保障室の初代室長

平成元年 退官。人事院、警察大学校等の非常勤講師



## 経済産業省からのお願い

経済産業省では、工業統計調査を平成17年12月31日現在で実施します。この調査は製造業を営むすべての事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。皆様から提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いいたします。

## 2005年4～6月の出荷・輸入・輸出

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出 荷	単位	2005年4-6月度		2004年4-6月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	111,815	6,536	115,348	7,370	-3.1%	-11.3%
ボールペン(水性)	千本	220,046	9,137	229,570	10,024	-4.1%	-8.8%
マーキングペン	千本	179,142	8,618	179,650	9,264	-0.3%	-7.0%
シャープペンシル	千本	61,233	4,291	81,735	5,181	-25.1%	-17.2%
鉛筆	gross	549,707	1,676	477,425	1,490	15.1%	12.5%
シャープしん	千本	895,239	1,478	962,804	1,507	-7.0%	-1.9%
修正液	千本	13,670	1,177	13,942	1,219	-2.0%	-3.4%
修正テープ	千個	23,206	1,909	22,593	1,961	2.7%	-2.7%
クレヨン・パス	千本	19,071	293	20,549	298	-7.2%	-1.7%
水彩絵の具	千本	16,073	756	16,171	705	-0.6%	7.2%
合計金額			35,871		39,015		-8.1%

## 日本貿易統計

輸 出	単位	2005年4-6月度		2004年4-6月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	65,911	2,354	70,420	2,505	-6.4%	-6.0%
ボールペン(水性)	千本	188,632	7,990	195,749	8,402	-3.6%	-4.9%
マーキングペン	千本	79,639	3,254	82,414	3,491	-3.4%	-6.8%
シャープペンシル	千本	43,978	2,159	53,728	2,337	-18.1%	-7.6%
万年筆	千本	1,559	236	1,738	230	-10.3%	2.7%
以上のセット品	千本	298	57	177	25	68.2%	128.0%
黒しん鉛筆	gross	25,771	47	30,979	71	-16.8%	-33.7%
色しん鉛筆	gross	4,818	13	7,677	24	-37.2%	-46.9%
ボールペン用中芯	千本	60,791	833	64,403	797	-5.6%	4.6%
マーキングペン用ペン先・ゴブポイント	千本	1,113,896	1,919	1,091,425	1,931	2.1%	-0.6%
シャープ部品・付属品	Kg	54,412	209	55,053	281	-1.2%	-25.6%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	399,650	1,078	441,682	1,093	-9.5%	-1.4%
シャープしん(鉛しん含む)	Kg	141,265	729	148,154	785	-4.6%	-7.2%
クレヨン・パス	Kg	67,186	122	38,092	110	76.4%	11.0%
合計金額			21,000		22,082		-4.9%

## 日本貿易統計

輸 入	単位	2005年4-6月度		2004年4-6月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	56,172	1,663	60,649	1,547	-7.4%	7.5%
マーキングペン	千本	45,922	755	45,613	681	0.7%	10.8%
シャープペンシル	千本	9,697	278	9,415	239	3.0%	16.3%
万年筆	千本	79	360	84	241	-5.4%	49.7%
セット品	千本	671	37	528	26	27.1%	39.7%
黒しん鉛筆	Kg	134,564	86	138,331	91	-2.7%	-5.7%
色しん鉛筆	Kg	226,517	243	385,797	293	-41.3%	-17.2%
ボールペン用中しん	千本	7,952	60	11,922	66	-33.3%	-9.4%
ペン先及びゴブポイント	千本	26,611	62	57,143	123	-53.4%	-49.7%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	232,069	500	206,227	468	12.5%	6.9%
ペン軸、その他の部分品	Kg	44,261	72	53,608	77	-17.4%	-6.7%
しん	Kg	86,401	84	95,688	115	-9.7%	-26.9%
パステル・チョーク	Kg	301,904	126	282,697	141	6.8%	-10.5%
合計金額			4,329		4,118		5.1%